

# 第7回アフリカ開発会議(TICAD7)

2019年7月  
外務省アフリカ部

## アフリカ開発会議(TICAD)とは

- 1993年に日本が立ち上げたアフリカ開発に関する首脳級の国際会議
- TICAD V (2013年)までは5年毎, TICAD VI (2016年)からは3年毎に開催
- 特徴: ①先駆的存在, ②包摂的かつオープン, ③アフリカのオーナーシップと国際社会のパートナーシップの理念を具現化, ④着実な公約実行(フォローアップメカニズム)

## TICAD7の概要

- 日時・場所: 2019年8月28~30日(於: 横浜)
- 共催者: 日本, 国連, 世界銀行, 国連開発計画(UNDP), アフリカ連合委員会(AUC)
- 参加者: アフリカ諸国に加え, 国際機関, ドナー諸国, 民間企業, 市民社会等
- サイドイベント: 多彩なサイドイベントが開催予定
- TICAD7名誉大使: MISIA氏, TICADキャラ特使: ハローキティ
- TICAD官民連携推進特使(日本企業)の委嘱

ロゴ



## 議論の概要

本年, 日本ではWAW! やG20といった開発にも関係する大規模国際会議が開催され, G7も仏で開催の予定です。これら会議の成果に加え, アフリカ側の要望も踏まえ, アフリカ開発に関する以下の3点について「アフリカに躍進を! ひと, 技術, イノベーションで。」のテーマの下, 広く議論していきたいと考えています。

- イノベーションと民間セクターの関与を通じた経済構造転換の促進及びビジネス環境の改善
- 持続可能かつ強靱な社会の深化
- 平和と安定の強化(アフリカ自身による前向きな動きを後押し)